2019 年１１月１日発行

点訳通信 102号

日本ライトハウス情報文化センター
点字製作係
発行責任者　竹下　亘
〒550-0002　大阪市西区江戸堀 1-13-2-8F
TEL 06-6441-1028（点字製作係直通）

１０月初めに出張で宇都宮に行かせていただきました。駅前には商業ビルが立ち並び、でも、穏やかな印象の街でした。それから１週間後、台風１９号が猛威を振るい、東日本を襲いました。訪れた街は大丈夫だったようですが、僅かの間に私たちの生活を一変させてしまう、天候の恐ろしさを改めて感じています。

毎年、台風のシーズンになると天候に脅かされることになるのでしょうか。

（点字製作係　奥野真里）

【 休館等のお知らせ 】

１１月　２日（土）	開室（休館日ですが、点字製作係は開室します）
１１月２３日（土）	休館（勤労感謝の日）
１２月２８日（土）～	年末年始休館
１月　６日（月）	（ボランティア活動は１月７日（火）から再開します）

点字で「読書の秋」、IT 機器など大集合

１０月１９日、２０日の二日間、難波御堂筋ホールで「日本ライトハウス展～全国ロービジョンフェア２０１９」が開催され、多くの方が来場されました。当日展示されていた、点字に関係する最新機器の情報や、同時開催されていた「触って聞いて見る地図展」（大阪市視覚障害者福祉協会主催）について報告します。

点字を読む手段

（点字製作係 主任 奥野 真里）

点訳図書を読者が読む手段として、どのような方法があるでしょうか。

もちろん、従来からの点字用紙に印刷して読むという方法は、今も多くの読者が利用していますが、これ以外に、最近加速的に利用が伸びているのが、点字ピンディスプレイを使ってデータを読み込む方法です。パソコンなどに点字データを入れ、そのデータをピンディスプレイに表示させて読みます。関連機器・ソフトウェアの開発は年々進み、今回の日本ライトハウス展にもたくさん出展されていました。

【六点入力できる小型電子機器】

点字ピンディスプレイは大きく分けると、１行４０マス表示のものと、１行１６マス表示の２種類があります。今回の展示会で注目を集めたのは１６マス表示の端末で、まもなく発売される「ブレイルメモスマートAIR１６」。パソコンや周辺機器との接続方法を容易にしたり、バッテリーの持ち時間を長くしたりと、従来の製品に改良を加え、持ち運びが便利になるそうです。点字による読書だけでなく、メモ帳としても便利に活用できそうです。

【立体点図プリンタ】

写真の画像や図、グラフなどのデータを自動変換し、点図を印刷できる立体プリンタ「Easy Tactix（イージー タクティクス)」。手軽に点図資料が作れるので、即時的に図の形や内容を伝えたい時には有効です。ただ、細部までしっかり情報を伝えたい場合や教材に用いる場合などは、点訳者などが入念に下図に手を施す必要があります。

【ＣＤ表面に点字シールを貼付】

「ＣＤケースと中身が違っていて焦った」という話は、視覚障害者の間ではよくあることです。しかし、ばらばらになったケースと中身をセットにするのは、なかなか手間のかかること。それを解消できるというセールスポイントの、「てんじのわ」という製品があります。円の中心に穴の空いたドーナツ状の透明なシールにＣＤのタイトルなどを印字し、それをＣＤのレーベル面に貼り付けます。しっかり接着しているので剥がれる心配もないそうです。今は音楽データなどをダウンロードすることも多いですが、これまで集めたＣＤに大いに活用できそうな製品だと思います。

このように、さまざまな場面に応じて、点字を使用できるシーンが広がっています。今後も点字関連機器にも注目していきたいと思います。

地図からひろがる世界

（点字製作係 小原二三夫）

10 月 20 日午前、大阪市視覚障害者福祉協会主催の「見えない・見えにくい人の触って聞いて見る地図展」を見学しました。私が体験した 4 種の展示について紹介します。

①東京オリンピックの聖火リレーコースが分かる日本地図

47 都道府県の地図のピースをつなぎ合わせた大きな日本地図です。各都道府県は、日本地図からはずしてそれぞれ形を確かめたり、大きさを比較できます。また、それぞれの都道府県には円いシールが張ってあって、それを音声ペンでタッチすると、聖火リレーの通過市町村名、日程、見どころなどを音声で聴けるとのことです（私が触っている時は、故障しているらしく使えませんでした)。

②近畿地方の一部の地形図

明石付近から琵琶湖南端までの、東西 100km、南北 80km の地図です。3 種の地質（沖積層、台地、岩盤）の違いが手触りの違いで分かり、また、山地部分は 100m ごとの等高線の積み重ねで示され、川は溝になっていて、たどれるようになっています。さらにこれから、垂直方向の各地層の積み重なりの様子も触って分かるようにしたいとのことです。このような地質の様子が分かる地図からは、どの地域が地震や洪水などに弱いかなどを読み取ることもできます。

③宇宙関連の図

NASA など、アメリカで作られている図です。40cm 四方くらいの厚い樹脂製の用紙に凹凸がくっきりと浮き出ていて、触ってとても分かりやすいです。理科の教科書でおなじみの、太陽系、月の表面、日食の仕組みなどの図のほか、オールトの雲（太陽系の最外縁部にあると想定されている、小天体が散在している領域)、彗星の頭の部分から噴き出しているガス、そこから両側に斜めに長く伸びている 2 本の尾（塵の尾とプラズマの尾）など、初めて触るものもあって面白かったです。

④画像聴覚化システム

黒田昌弘さんという方が開発中のもので、昔ラジオドラマを聴いて景色などを思い浮かべたのと同様に、画像を音情報で示そうとする試みです。いろいろなメニューが用意されていますが、私はヘッドホンを両耳につけて、画面に映っている輪郭線の形を音の変化でたどってみたり、宮良瑛子（みやらえいこ）さんという沖縄在住の画家の絵を触図と音情報（触っている所に何が描かれているか、および作品解説と作家へのインタビュー）で鑑賞してみたりしました。どれだけ実用的かはなお問題はありますが、美術館や博物館での情報提供の仕方としては大いに活用できそうです。

連　絡　事　項

【藤野高明（ふじのたかあき）氏が点字・点訳の重要性を講演】

当館では、12月14日(土)13時30分～16時、当館４階会議室で、元大阪市立盲学校教諭、藤野高明さんの講演会を開催します。戦災で両手を失った藤野さんが、唇で点字を読むことにより教育を受け、教員となり、社会参加した歩みを通して、点字と点訳の重要性を学びます。参加希望者は、点字製作係までお申し込みください。

(C)WANPUG

【Windows７のメンテナンスが終了】

マイクロソフトによるWindows７のメンテナンスが２０２０年１月１４日で終了します。現在、Windows７のパソコンをお使いの方はWindows 10にバージョンアップされるか、メンテナンス終了後はインターネットに接続しないなどの対策を取っていただきますよう、お願いします。なお、「点字編集システム7」をすでにお使いの方は、Windows 10に変更されても、そのまま使用できます。

詳しくは、テクノツール株式会社のホームページか、お電話でお問い合わせください。